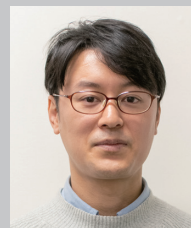


生き物は他の生物個体との相互作用をしながら生活しています。一つの生物個体を考えても、その生き物の表面や体の中には多くの微生物が生息しており、共生や寄生といった利害を伴う相互作用の中で生活しています。また、生殖は同種他個体との関係によって成立します。更に、動物と植物、微生物など種間での多様な相互作用は、生物の社会とも呼ぶべき複雑なネットワークである生態系を形成しています。生物社会学解析室では、このようなマクロスコピックな生物が織りなす社会を対象とし、生物個体の行動や挙動に基づいた解析を行う研究を推進します。対象とする生物社会に合わせた新規行動実験系の構築やデータ取得、AIを活用した行動追跡やデータ解析などを支援します。また、TSB センター内での他の室との協力により、生物社会を可能とする分子、遺伝子、高分子、細胞などのミクロな階層でみられる機構の解明を目標とします。基礎生物学研究所内に限らず広く、生物の社会を研究する研究者との共同研究により、マクロレベルで見られる生物現象をよりミクロな階層から深く理解できることを目指します。

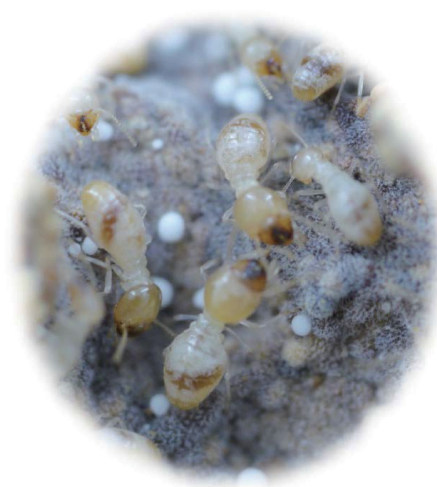
室長  
教授  
東島 真一



特任准教授  
河野 大輝



セイヨウミツバチの女王蜂を取り囲む働き蜂



*Odontotermes formosanus* on fungus garden 菌園上でキノコを栽培する台湾シロアリ